

平成27年度の博物館見学実習について ～学生のレポートからみた動向～

宮内 重宜

1：はじめに

九州保健福祉大学学芸員養成課程では毎年、博物館見学実習を行っている。本実習は、学内における実務実習・館園実習の前段階として実施し、様々な博物館の運営実態を学び、他の博物館に関する科目で習得した知識を深める目的で行われる。本年度は平成27年10月24日に実施し、3年次生7人が参加した。見学先は宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館であった。



写真1：会議室で施設説明を受ける（宮崎県総合博物館）

2：博物館見学について

本実習では、それぞれの博物館において職員の方に施設の説明を受けた後、収蔵庫、展示施設、体験講座についての説明・見学案内をしていただいた。宮崎県総合博物館は、人文科学と自然科学の両分野を扱う総合博物館である。昭和26年に人文科学系の県立博物館として設立され、平成10年にリニューアルオープンした歴史の長い博物館である。宮崎県の様々な分野の資料の調査研究、収集保存、展示を行い、宮崎県民の学校教育や生涯学習の場とすることを目的としている。一方、西都原考古博物館は西都原古墳群を見下ろす高台に作られ、平成16年に開館した比較的新しい考古学の博物館である。ユニバーサルデザインを重視した施設であり、西都原古墳群に関するものを中心とした歴史資料をストーリーに沿って展示している。

本実習後、学生にはレポートを課し、各博物館の特徴と実習内容について各自の意見を収集した。学生のレポートを見ると、学生の視点は、①収蔵庫の特徴、②展示施設の特徴、③ボランティアの役割



写真2：収蔵庫の見学を行う（宮崎県総合博物館）

の3点に置かれており、2つの博物館を比較する形式でまとめられていた。学生のレポートから、各博物館の特徴と本実習の動向について考察したい。

博物館の特徴については、両博物館ともに、収蔵庫の管理やボランティアの役割には大きな違いはないようであるが、展示施設においては、2つの博物館で大きく特徴が分かっているようである。

<学生のレポート内容>

収蔵庫の特徴	宮崎県総合博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫の入り口に手指の消毒とスリッパの履き替えが行われ、虫の侵入を防ぐトラップが設置されている。 ・収蔵庫内は陽圧になるように空気の流れが出来ており、虫や菌、湿気などが外部から入らないように工夫されている。 ・空調の管が収蔵庫内を通っている、陽圧になっていない部屋があるなど、欠陥もみられる。 ・収蔵庫は地質や動物・自然史・鉱物や化石などに部屋が分かれ、展示品に合った材質の壁や床が使用されている。 ・生物の資料は剥製になっているものが多く、県内で捕獲したものや動物園から譲り受けたものがある。剥製にされていない資料は冷凍庫で凍結されている。 ・温湿度管理は徹底されており、各分野の部屋ごとに加湿器や除湿器、温湿度計が設置されている。 ・紙資料を保管する歴史資料の保管部屋や金属器の保管部屋は急激な湿度変化を防ぐために木材の壁が使用されている。 ・総合博物館は、歴史が長く、展示物も多いために収蔵庫のスペースが足りていないように思える。
	西都原考古博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫に入る際、スリッパの履き替えがある。 ・ドアに触れて良い部分が制限されている。 ・虫の侵入防止のトラップが見られる。 ・水を使わず、窒素ガスで火を消す仕組みがある。 ・鎧や刀などの鉄製の部屋や、人骨や骸骨の模型が収蔵された部屋があり、棚には資料の落下防止のための返しがあり固定されている。 ・人骨など湿気の影響を受けやすい資料の部屋には木材の壁や棚が使用されている。 ・一般の来館者も展示室から収蔵庫の一部を見ることが出来る。
	共通点	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫はどちらの博物館においても、虫の侵入防止のためのトラップ設置や、展示物ごとに異なる温湿度管理がされている。

展示施設の特徴	宮崎県総合博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、動物、歴史の順番に展示されている。 ・宮崎県内の歴史や動植物の展示が多く、生息する昆虫や動物、植物の標本を解説とともに展開している。 ・森の中の動物が探しにくいいため双眼鏡を置き、見つけやすくするだけでなく、実際に探している気分になれる工夫が見られる。 ・レプリカと本物をうまく使い分けている。 ・学術的な説明や歴史的背景が書かれているパネルが多い。 ・鳥の鳴き声を聞ける展示や本物の植物の展示など、五感を使って感じることでできる展示施設となっている。 ・1階の自然史ブースと2階の歴史ブースを吹き抜けて繋げた展示が印象強い。 ・様々な分野の資料をこの博物館だけで見ることができ、特徴あるジオラマ展示により体験型で分かりやすく学ぶことができる。
	西都原考古博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを積極的に取り入れており、通路が広く、音声ガイドや触察ピクト、スロープが各所に設置されている。 ・解説を極力取り入れず、実際に展示物に触わり、考えることでできるハンズオン展示が多く、質感を肌で感じられる。 ・手すりに時代の流れが書いてあったり、火山灰を壁に使っていたりと細かい工夫が見られる。 ・映像を多く使っている。 ・展示は誘導展示となっており、館全体が一つの物語のように作り上げられている。 ・常設展示の内容は頻繁には変わらないが、発掘した物を調査研究して新たに展示するという、常に更新されていく常設展示である。
	共通点	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらの博物館も流れに沿った展示を行っており、それぞれに特徴的である。

ボランティアの役割	宮崎県総合博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家に住んでいた方に当時のお話しをしていただく。 ・入り口にボランティアスタッフが常駐している。 ・土日を中心に展示物の説明を行う。
	西都原考古博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物のガイド以外に、体験学習のサポートや、身体にハンディのある人の手助け、音声ガイドベストの使い方を説明するなど、学芸員の手が届かないところをフォローする。 ・古代生活体験館にて、来館者は勾玉や埴輪などを作ることができるが、これはボランティアのNPO団体が運営をしている。 ・建物の改装を応募で募る。 ・屋根の稲刈りなどのイベントを行う。
	共通点	<ul style="list-style-type: none"> ・経費が大幅に削減されていることもあり、ボランティアを募り、協力していただくことへの重要性が高まっている。 ・ボランティアを他のことに広げていく余裕が無い。

3：各博物館の特徴

収蔵庫では、虫や菌の侵入を防ぐために厳密な扉の開閉やトラップ設置を行い、温湿度管理に気を遣うなど、どちらの博物館においても資料を長く保存するための同様の工夫が見られる。施設の新旧や展示資料の違いによって多少の違いは見られるが、基本的な保管方法は同じようである。展示については、宮崎県総合博物館は、ジオラマ展示や、音声展示、剥製やレプリカの展示など、多様な展示と解説があり、五感を用いて多くの情報を得ることのできる展示が特徴的である。一方、西都原考古博物館はゆったりとした展示スペースを確保しており、解説も極力省き、ハンズオン展示を自分で触り、考えながら見て回る展示方法となっている。積極的に様々な情報を学ぶことを目的とする場合は、県総合博物館のように情報が多い博物館が良く、受動的に考える力を学ぶことを目的とする場合は西都原考古博物館のような展示が有効だろう。ボランティアの役割についてはどちらもその重要性は増しており、連携した体制作りが模索されている。今回見学した限りでは、県総合博物館よりも西都原考古博物館において、より職員とボランティアが連携しやすい体制が作られているように思われる。これは、県総合博物館は専門性が高い展示が多く、体験型の展示が多い西都原考古博物館のようにボランティアが手伝う要素が少ないことも影響しているのだろう。



写真3：ハンズオン展示を体感する
(宮崎県立西都原考古博物館)

4：おわりにー博物館見学実習の動向についてー

レポートを見る限り、学生達の視点は資料の保存方法や展示方法、展示の流れをきちんと捉えていた。特に、ユニバーサルデザインや、ハンズオン展示については、講義で習った後で実際に体験したことで印象深く感じる学生が多かったようである。上記の視点以外にも、博物館での学芸員の役割について興味を持っている学生もおり、博物館学芸員が調査研究以外にも、収蔵庫の温湿度管理や予算管理、ボランティア活動、講演会などを行っていることを実感したようだ。

今回は制限された時間内の見学実習であったため、十分な時間をかけて館内を見ることができなかった。特に自由な観覧時間を設けることができなかったことは、学生個々人の視点を制限してしまっていたように思える。学生には今後、複数の博物館を見学し、内容を発表することを課題としている。そして、来年度には自分たちで企画・作製して展示する企画展示や博物館へのインターンシップを行う予定である。今回の見学実習はその前段階として、学芸員の役割や魅力的な展示を行うための創意工夫を学ぶ機会として、良い体験となっただろう。



写真4：体験講座の説明をうける（宮崎県立西都原考古博物館）